

コロラド州：小麦作柄と気象状況

2005年7月19日

2005年7月17日現在：

7月17日に終わる1週間のコロラド州の気象は、引き続き高温・乾燥気象であった。気温は平年を上回り推移した。東部平原では強風の日が多く、散発的に雷雨が発生したのが降水量は少なかった。1週間の州平均農作業稼働日数は6.7日（前週：6.4日）であった。土壌水分は前週より更に減少した。

冬小麦の97%が完熟し、全体の80%が収穫された。昨年並びに5年平均より早い進展であった。作柄評価は高温・乾燥の為前週より更に悪化した。

2005年7月1日付けUSDAの冬小麦生産量予想では、単位収量は6月1日予想より5 bushels 減少し、27.0 bu/ac となった（2004年産実績：27.0bu/ac）。昨年実績と等しくなった。5月の天候不順が登熟を遅らせ6月中旬からの水分不足がマイナス要因と考えられる。詳細は別表の通り。

土壌水分：7月17日現在

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	16	41	42	1
Subsoil (%)	20	38	40	2

生育状況：7月17日現在

	This Week	Last Year	5-Yr Ave.
Ripe (%)	97	93	97
Harvested (%)	80	72	79

作柄状況：7月17日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	11	21	45	18	5
Last week (%)	9	19	36	29	7

Source : Colorado Agricultural Statistics Service

7月1日付けUSDA生産量予想（冬小麦）

State	Area Harvested 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				June 1	July 1		
CO	1,700	2,400	27.0	32.0	27.0	45,900	64,800
USA	34,462	34,271	43.5	44.1	44.5	1,499,434	1,525,302

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : Email ogawa.max@omicnet.com